

浸水被害を 防ぐために

床下浸水は、家の土台や設備の劣化、カビ・シロアリの原因になります。
「事前の予防」と「発生時の被害軽減」を意識して、
複数の対策を組み合わせましょう。

今すぐできる 6つの対策

1 排水環境を整える

- 雨水ます・側溝・排水溝の
落ち葉や泥を取り除き、
詰まりを防ぎましょう。
- 敷地の勾配を確認し、
雨水が建物に向かう
流れがないか点検
しましょう。



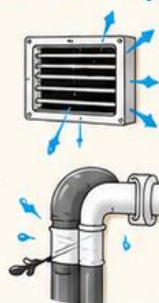
2 止水対策をする

- 玄関・勝手口・車庫など
開口部に簡易な止水板
(プラスチック製など)
を備えましょう。
- 土のう・水のうを準備し、
低い場所に積んで
水の流入を
防ぎましょう。



3 浸水経路を確認する

- 床下換気口、配管まわり、
エアコン配管など、
水が入りやすい場所を
確認しましょう。
- 防水テープや簡易カバーを
準備し、必要に応じて
養生しましょう。



4 ハザードマップを確認する

- 浸水想定区域図で自宅の
浸水深や発生タイミングを
確認しましょう。
- 避難先・避難ルート・
避難開始の判断基準を
家族・職員で
共有しましょう。



5 家の中を守る準備

- 貴重品・重要書類は
高い場所に保管を。
- コンセント・家電の
防水カバーや
配置見直しも
有効です。



6 発生後の対応を決めておく

- ブレーカーを落としたうえで、
安全を確認しましょう。
- 水に濡れた家電やコンセント等は
使用前に業者の点検を
受けましょう。



浸水したら（対応の基本手順）

- 安全確保**
ブレーカーを落とし、
危険箇所を確認。
- 水を抜く**
排水ポンプや
バケツで
水を排出。
- 泥を除去**
泥やゴミを
取り除き、
清掃する。
- 乾燥**
換気・送風で
しっかり
乾かす。
- 消毒**
消毒や
防カビ処理を
行う。

個人や地域の協力により実施が難しい場合は
生駒市社会福祉協議会 (TEL 0743-75-0234) へ

写真・動画で記録を残しておきましょう！
保険の請求や公的支援の申請で役立ちます。

中長期的な備えと専門的な対策

- 排水ポンプ、バケツなどの備え
小型排水ポンプ、ホース、バケツ、
停電時用の手動ポンプ、ポータブル電源を用意。
- 家屋の耐水化・嵩上げ（かさあげ）の検討
繰り返す床下浸水には、基礎の嵩上げや
リフォームなど中長期的な対策を。
- 保険の確認
火災保険の浸水補償を
事前に確認しましょう。



情報収集も
大切です！

生駒市の
ハザードマップ
浸水想定区域や
避難情報はこちら



防災・避難情報
(生駒市公式LINE)
気象情報や避難情報を
いち早くお届け！



生駒市総合防災マップ
備蓄品・非常持ち出し品のページ
備蓄や非常持ち出し品の
チェックリストなどを
確認できます。

